

2024 年 11 月 5 日

報道関係各位

ティアック株式会社

スタンドアロン、高帯域、多チャンネルでの計測が可能なデータレコーダー ワイドバンドデータレコーダー『WX-9000 シリーズ』を発売

TEAC(ティアック)は、スタンドアロン、高帯域、多チャンネルのデータ収録装置、ワイドバンドデータレコーダー『WX-9000 シリーズ』を、2025 年 1 月より販売します。

品名	型名	メーカー希望小売価格	発売予定日
ワイドバンドデータレコーダー	WX-9016	3,300,000 円(税抜)	2025 年 1 月
	WX-9032	5,800,000 円(税抜)	
	WX-9064	10,800,000 円(税抜)	
	WX-9128	20,800,000 円(税抜)	

*価格はチャンネル構成により異なります。



『WX-9016』(16 チャンネル入出力モデル)

『WX-9000 シリーズ』は、データ記録の確実性、信頼性が強く求められる、主に航空宇宙、鉄道、電力、防衛などの基幹産業における高帯域、多チャンネル計測でご利用いただくことを目的とした製品です。

従来製品の『WX-7000 シリーズ』と比べ、機能・性能など基本仕様を大幅に改善したことに加え、ランニングコストの低減やユーザービリティの向上を実現しています。



主な特徴と従来品からの改善点

- 高サンプリングの実現。256kHz サンプリング／100kHz 帯域に対応。
 - 入手性が良く安価な 2.5 インチ SATA-SSD を採用。メディア容量は従来比べ 2 倍の最大 4TB に対応し、ランニングコストを低減。さらに耐振動性を確保。
 - 記録レートを大幅に向上。
SSD／PC スループット記録は約 32MB/s、256kHz／16bit／64ch の記録が可能
オプションカートリッジによる SD カード記録は約 6.4MB/s、51.2kHz／16bit／64ch の記録が可能
 - 従来品を上回る 137dB (FFT ベース) のワイドダイナミックレンジを実現。
 - 2 チャンネル毎のチャンネル間絶縁に対応。
 - 1 ユニット最大 128ch まで、16ch 毎のチャンネル増設が可能。
メインユニット、アンプユニット間の接続ケーブルを無くし、背面コネクタの脱着等の利便性を向上。
 - 従来のジョグダイヤルに加え、タッチパネル液晶採用により、素早く直感的な操作が可能。
 - 分散配置に対応し、メインユニットとアンプユニットを最大 50m 離して配置が可能。
センサのケーブル引き回し等の利便性を向上。
 - 無線 LAN 対応。無線 LAN で本体の設定、制御やモニタリングが可能。
 - GPS 入力を標準実装。
 - 電源投入後の STOP/REC STANDBY/REC 設定が可能。電源復旧後の記録再開が実現。
 - 従来品に比べ、約 20%の本体軽量化を実現。
 - データ取り逃し防止機能を付加し、不意な電源断でも直近までのデータを確実に記録。
 - PC 制御用ソフトウェアは従来製品を踏襲した WX9K Navi を標準で提供。
 - データフォーマットは従来通り TAFMat 形式を採用。
 - その他仕様は『WX-7000 シリーズ』を踏襲。
- ※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

主な販売先

- 防衛関連事業者
- 鉄道関連事業者
- 電力関連事業者
- 航空宇宙関連事業者
- レンタル事業者

販売予定台数

- 年間 120 台

報道関係からのお問い合わせなどのご用命は、こちらまでお願いいたします。

ティアック株式会社 情報機器事業部 事業推進部 企画課

TEL : 042-356-9154 FAX : 042-356-9185

E-Mail: isd-pm@teac.co.jp

読者からの製品問い合わせ窓口は、下記を掲載するようにお願いいたします。

ティアック株式会社 情報機器事業部 メジャメントプロダクト営業部 営業課

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

TEL : 042-356-9161 FAX : 042-356-9185

E-Mail: mp_sales@teac.jp

URL: <https://datarecorder.jp/>